

65期（関東）同期会を新宿で開催

幹事 上原 昇（2組）

たまたま購読している日経新聞日曜版の1月から2月にかけて3回にわたり新宿中村屋の特集記事が掲載されました。“新宿に吹くパリの風、中村屋サロン群像”というタイトルで日経新聞の美術担当記者が執筆しています。そのなかで、「・・・現在、中村屋は立派なビルになっている。大都会に生まれ変わった新宿の街と同様、当時の面影はない。・・・ビルの3階には荻原碌山や中村彝（つね）の作品を収めた美術館が設けられている。こんなパン屋はちょっとほかにはない」と記しています。

今年の関東同期会は昨年と同日の2月27日（木）の夜、新宿中村屋ビル8階カジュアルダイニング「Granna（グラナ）」で開催することになりました。

現在、首都圏在住の同期約120名のうち、これまで同期会に足を運んだ人、約70名に案内を出した結果、当日は22名の出席となりました。

出欠の返事のない人が約30名いますが、後期高齢ともなると諸事情で返信や出席がままならぬ人も増えてきました。

また困ったことに、送ったメールを開けない（見ない）人もいます。

2001（平成13）年から始まった関東の同期会は今回で24年、33回目を数えます。

この会もいつまで、続けることができるのでしょうか。

開会時間の18時、出席予定の22名が時間通り全員揃いました。

会の司会進行は毎回お馴染みの牧野泉幹事（9組）です。冒頭、幹事の筆者（上原）から、今後の同期会の予定などについて報告した後、丸山暢久幹事（4組）による乾杯の発声で開宴となりました。

宴たけなわとなったところで、出席者から順番に近況スピーチが披露されました。

なかでも、しばらく体調を崩していた牧野泰晴君（1組）が久しぶりに登場、元気なスピーチをしてくれたのが印象的でした。

飲んで、食べて（中村屋名物のインドカレーもしっかりいただきました）、話しての2時間半があっという間に過ぎ、原田義則君（3組）の中締め、集合写真撮影で、20時半に無事お開きとなりました。

今年は7月12日（土）に、上田で喜寿記念の同期会が予定されています。

3月には、開催の案内が皆さんの手元に届くことと思います。

今回、出席した人はもちろん、欠席した人も喜寿（77歳）を祝って参加しましょう。



前列坐り 左から牧野泉、上原（中腰）、甲田、村田、牧野泰、浅倉、柳澤光、西澤、
後列立ち 左から、神宮、折井、澤崎、宮澤、原田、沓掛、成澤、滝沢克、岡田、丸山隆、
関、佐藤、櫻田、丸山暢

(2025年2月28日記)

以上